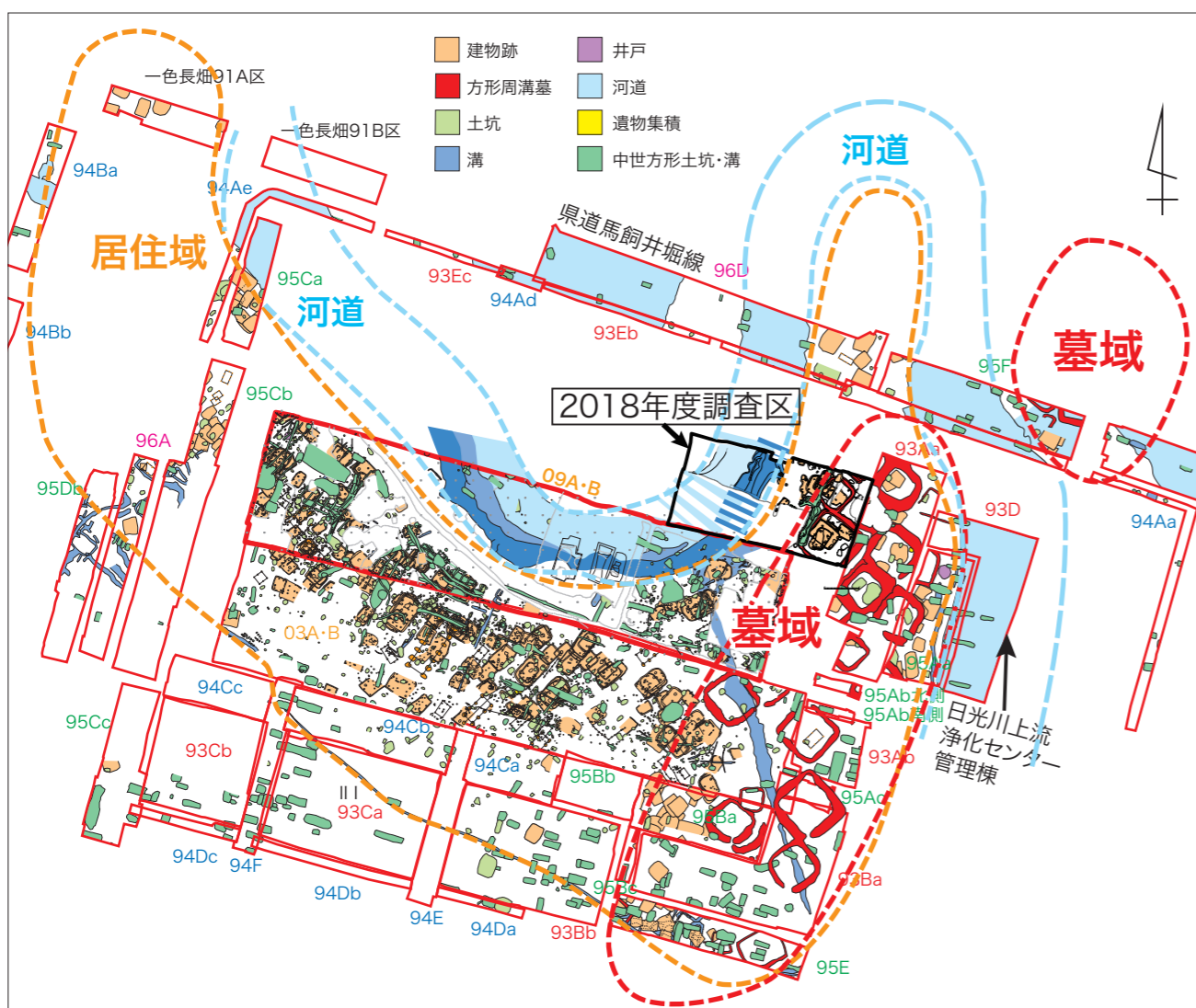
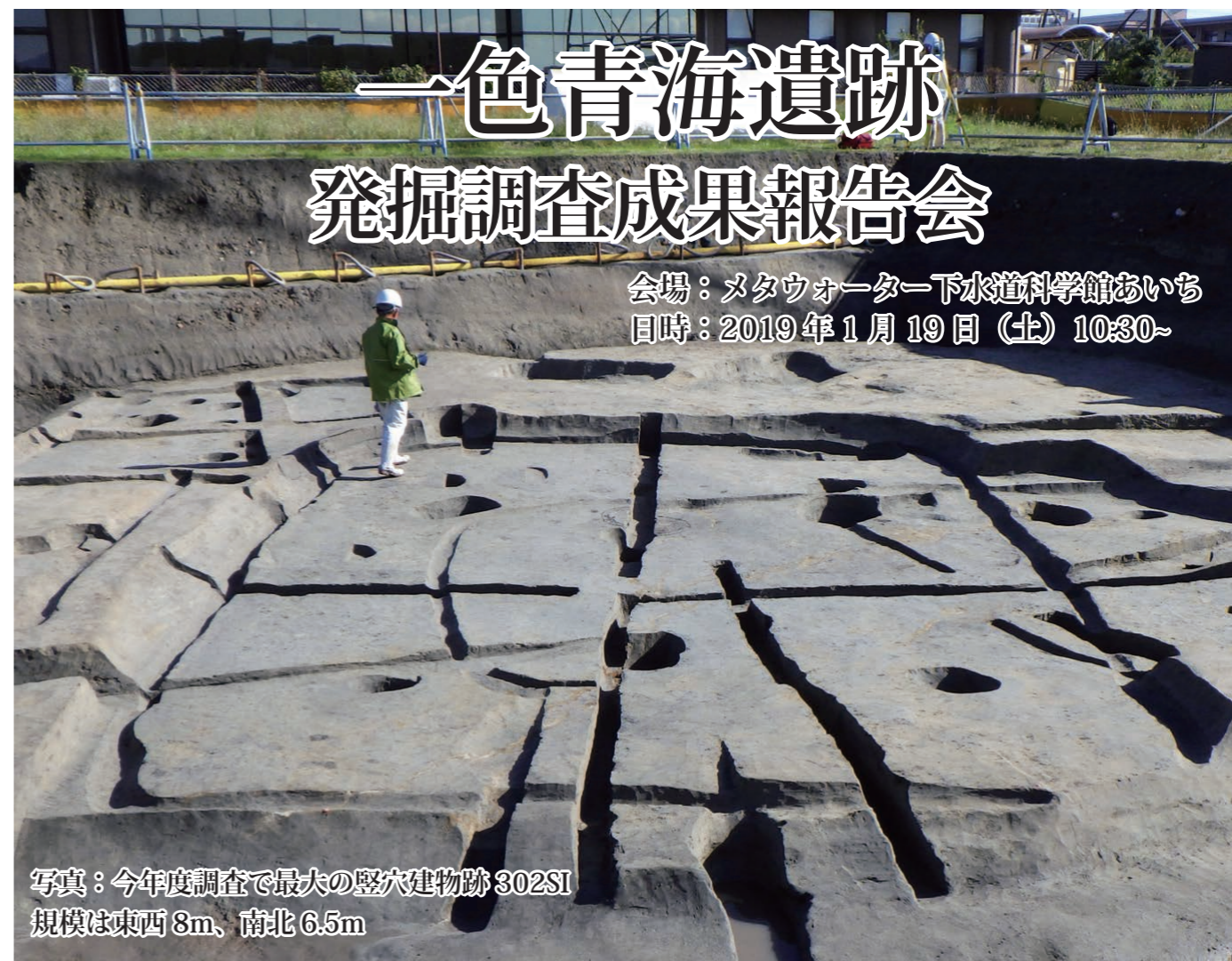


一色青海遺跡と周辺の遺跡（発掘調査が行われた弥生時代中期の遺跡のみ記名）



一色青海遺跡集落模式図（弥生時代中期後葉、約 2100 年前）S=1/2000
2010 年説明会資料の図を加筆・修正



写真：今年度調査で最大の竪穴建物跡 302SI
規模は東西 8m、南北 6.5m

今年度の一色青海遺跡の発掘調査は、平成 30 年 6 月に着手し、11 月に完了しました。調査を行った面積は 1,300㎡で、主に弥生時代中期後半（約 2100 年前）の方形周溝墓、竪穴建物跡、溝、河道が検出されました。

これまで一色青海遺跡で行われた発掘調査では約 36,000㎡が調査され、弥生時代中期後半に存在した集落は、最盛期では 200 人を超える人が住んでいたと考えられていますが、短期間（約百数十年）のうちに消滅してしまいます。今回の調査区は、従来から想定されている集落内の墓域や居住域の範囲内に位置し、居住域から墓域への変遷や、居住域が大きな溝のすぐ近くまで接近していた状況が確認できました。

出土遺物は、方形周溝墓の周溝や竪穴建物跡からは 1 点の完形品を含む多くの土器、溝からは土器や製作途中のものを含む木製品が出土しました。

最後になりましたが、発掘調査にご協力いただきました皆様、会場を提供していただきましたメタウォーター下水道科学館あいち様に感謝申し上げます。今後も発掘調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

平成 30 年度 一色青海遺跡成果報告会資料 平成 31 年 1 月 19 日配布

編集
配布



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com>

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802 の 24
電話 (0567) 67-4163 【調査課】
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

調査
支援



株式会社 文化財サービス
ASSISTANT SERVICE FOR CULTURAL ASSETS

〒612-8372 京都市伏見区北端町 58 番地
電話 (075) 611-5800
HP <http://bunnkazai.co.jp/>



河道400NR



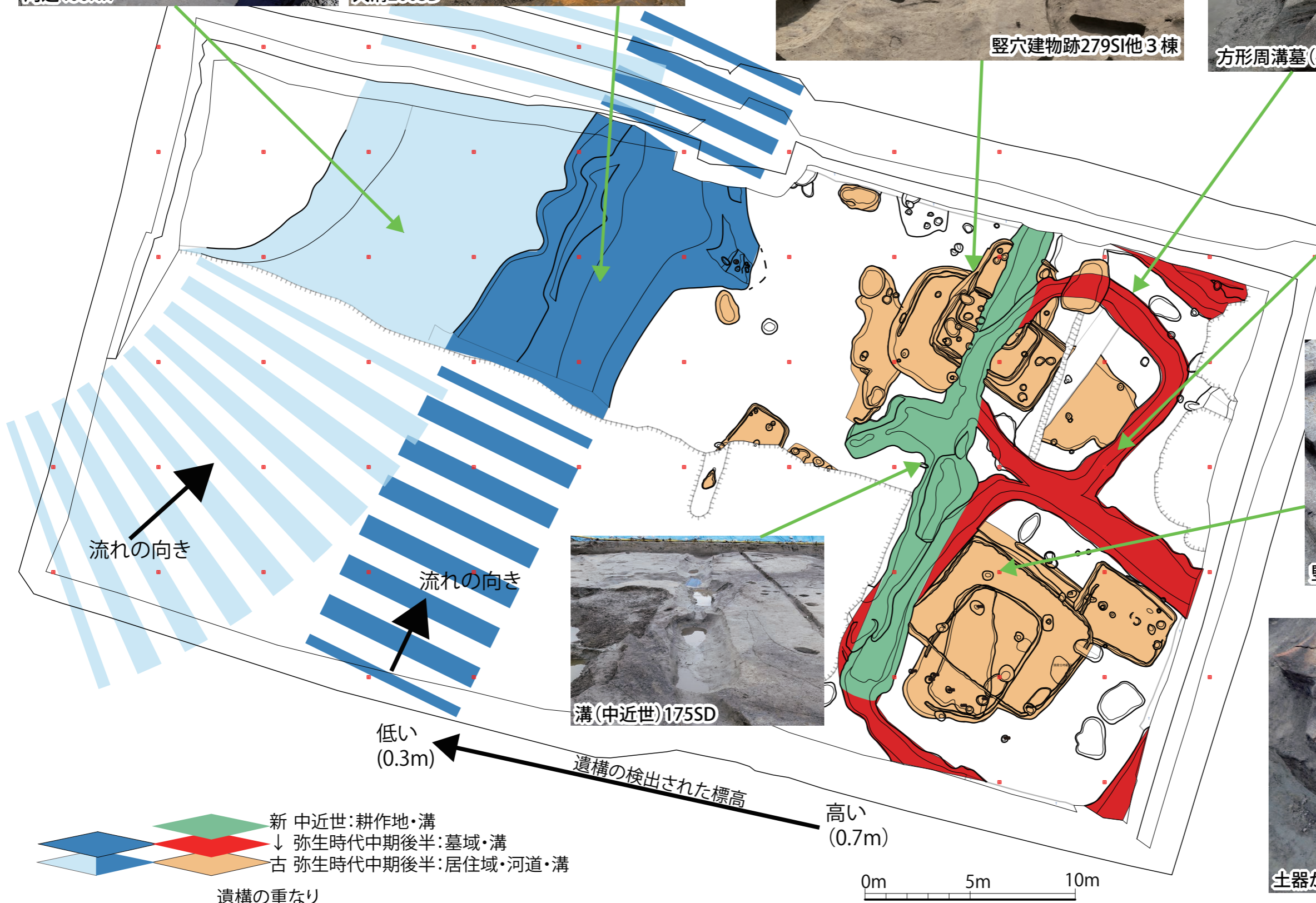
大溝200SD



竪穴建物跡279SI他3棟



方形周溝墓(手前020SZ、奥010SZ)



細頸壺(020SZ周溝出土)



竪穴建物跡(302SI) 出土土器



土器が床に接した部分は被熱していない

- 新 中近世: 耕作地・溝
 - ↓ 弥生時代中期後半: 墓域・溝
 - 古 弥生時代中期後半: 居住域・河道・溝
- 遺構の重なり

0m 5m 10m